

第110回日本陸上競技選手権大会・混成競技の参加資格について

1. 大会名
第110回日本陸上競技選手権大会・混成競技
兼 愛知・名古屋2026アジア競技大会 日本代表選手選考競技会
※第42回 U20日本陸上競技選手権大会・混成競技を併催する
2. 期日
2026年6月6日（土）～7日（日）
3. 場所
岐阜メモリアルセンター長良川競技場
4. 実施種目
男子 十種競技、女子 七種競技
5. 参加資格
2026年度本連盟登録者で、下記の（１）から（４）のいずれかに該当し国際大会で日本代表としての出場資格を有する日本国籍競技者（※）。
※参加資格記録有効期間の締め切りまでに、国籍の取得および陸連登録情報の国籍変更手続きを完了すること。
（１）第109回日本陸上競技選手権大会・混成競技の優勝者
（２）参加標準記録を満たした競技者
（３）直近で開催された地域選手権優勝者の中で当該種目申込資格記録上位３名の競技者
上記（１）～（２）と重複する場合でも、４位以下には繰り下らない
（４）申込資格記録を満たした競技者 ※ただしターゲットナンバー内に限る
6. ターゲットナンバー／参加標準記録・申込資格記録
（１）男子十種競技： ターゲットナンバー24名
参加標準記録7150点、申込資格記録7050点
（２）女子七種競技： ターゲットナンバー24名
参加標準記録5100点、申込資格記録4950点
7. 参加標準記録・申込資格記録有効期間
参加標準記録：2025年1月1日～2026年5月17日（日）まで
申込資格記録：2025年1月1日～2026年5月17日（日）まで

8. その他

- (1) 各種目の出場可能な人数をターゲットナンバーとして設定する。
エントリー数がターゲットナンバーを超える場合、5.(4)の申込資格を有する競技者であっても参加を制限されることがある。
- (2) 5.参加資格に記載される(1)～(4)を優先順位として参加者を決定する。
5.(4)内の優先順位は、申込資格記録順に記録の良い競技者を優先とし、ターゲットナンバーを上限に参加資格を付与する。ただし、ターゲットナンバーのボーダーライン上に同記録の選手が複数並んだ場合、参加を制限する、もしくは、競技方式等を変更することがある。
- (3) 参加標準記録・申込資格記録は、以下のいずれかを満たすこと。
 - 1) 公認記録であること（風力計測が求められる種目の平均秒速が+2.0m/s以内であること）。
 - 2) 追い風参考記録であっても風力計測が求められる種目の個々の風速が+4.0m/s以内であること。
- (4) 参加申込において虚偽があった場合（日本陸連登録情報、申込資格記録など）、参加を取り消す。また、今後本連盟主催競技会への参加資格を付与しない場合がある。
- (5) オープン参加選手は認めない。
- (6) 申し込みを行った記録をもとに資格審査及び番組編成を行うため、有効期間内の最も良い記録で申し込むこと。